

# 原発再稼働と再生可能エネルギーの普及に向けて

山田 悠太

## 【要旨】

日本の脱炭素の推進及びエネルギー自給率の向上実現を目指して第6次エネルギー基本計画が策定されたが、本稿はその基本計画をふまえたうえで、原子力と再生可能エネルギーの普及促進のために各発電や課題に対してどのような対応策が望ましいかを考察するものである。

日本の課題は、脱炭素の実現とエネルギー自給率の低さであり、この解決案として原子力発電と再生可能エネルギーが適していると考えた。原子力による発電量は低い状況が続く課題もあるが、現在ではある程度の理解が進み、普及には新規規制基準のもと電力会社と国が連携し地域への対話が必要である。また、再生可能エネルギーも、時間や天候の制約や、地理的に活用しにくい発電もある一方、洋上風力や小水力が導入されるなど期待が高まっている。

2つの発電を普及するために、原子力発電は安全性と効率性を確保し、再生可能エネルギーは日本に適した発電を組み合わせることが望ましいと結論付ける。